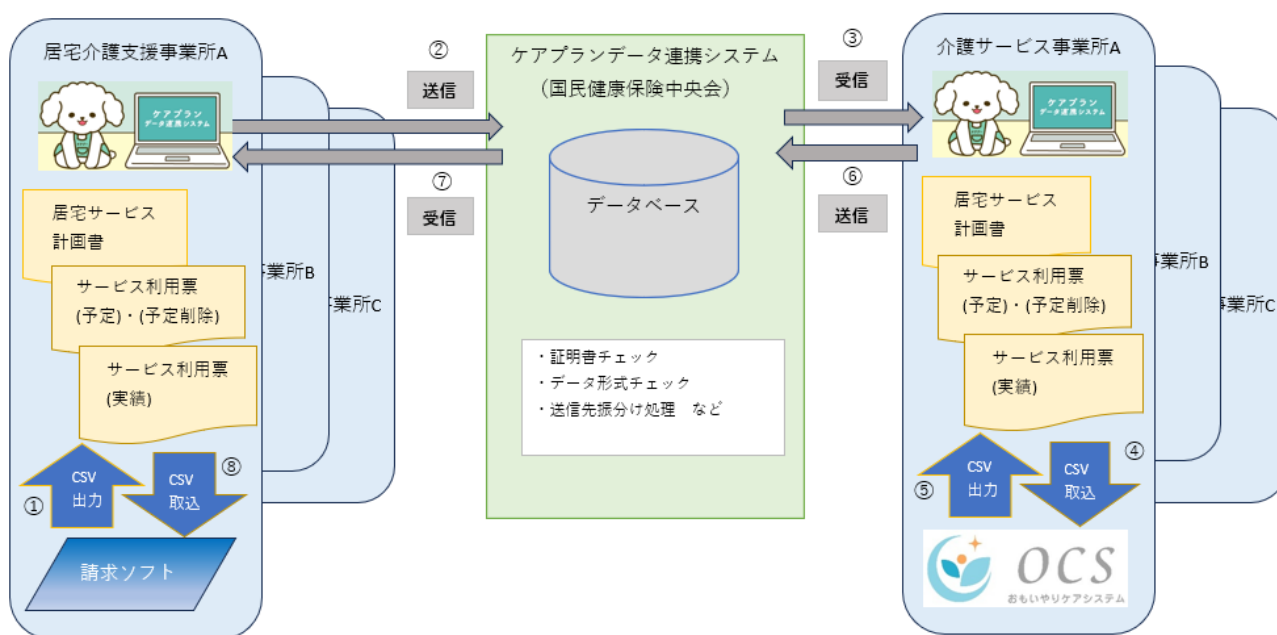


おもいやりケアシステムにおけるケアプランデータ連携について

おもいやりケアシステムでは、国保中央会のケアプランデータ連携アプリと CSV ファイルを用いてケア予定データの作成や、実績データを出力するなど、居宅介護支援事業所との情報連携が行えます。

【概要図】



①居宅介護支援事業所の「請求ソフト」よりケアプランデータ連携用の CSV ファイルの出力を行います。

おもいやりケアシステムの取込みとしては「居宅介護支援」3種類、「介護予防支援」3種類、出力としては、それぞれ1種類のファイルを取り扱えます（実際に取り扱うファイルはさらに詳細な CSV ファイルで構成されています）

- ・居宅サービス計画書
- ・サービス利用票（予定）、又はサービス利用票（予定削除）
- ・サービス利用票（実績）

②ケアプランデータ連携アプリにて、介護サービス事業所向けに CSV ファイルを送信します。

③介護サービス事業所にて、ケアプランデータ連携アプリより、CSV ファイルを受信します。

④おもいやりケアシステムの取込み処理にて受信した CSV ファイルを取込みます。

⑤おもいやりケアシステムのケアプランデータ連携の出力処理にてケアプラン「連携」として確定した実績データを CSV ファイルに出力します。

⑥ケアプランデータ連携アプリにて、実績データの CSV ファイルを送信します。

⑦居宅介護支援事業所にて、ケアプランデータ連携アプリより、CSV ファイルを受信します。

⑧請求ソフトのケアプランデータ連携の実績データ取込み処理にて取り込みます。